

平成22年度 一般社団法人 岐阜県臨床工学技士会 定時社員総会議事録

第1号議案 平成21年度 事業報告および収支決算報告

旧岐阜県臨床工学技士会は、平成21年12月20日に解散しており、一般社団法人岐阜県臨床工学技士会の平成21年度活動期間は平成21年12月20日～平成22年3月31日までですが、旧岐阜県臨床工学技士会解散時に活動報告を行っていないので、旧岐阜県臨床工学技士会の活動報告も含めて記載してあります。

平成21年度事業報告

1. 関連団体との交流に関する事業

(社)日本臨床工学技士会、中部臨床工学技士会連絡協議会など関連団体との情報交換、連携強化に努めた。

- 1) 5月8日(金)第4回全国臨床工学技士会代表者意見交換会(徳島市内)
 - ・ 野倉会長、野々村事務局長が出席。
 - ・ 都道府県技士会へのアンケート結果:各県共に法人化に関する意識は高いが、実行はまだまだ進んでいない。
 - ・ 日臨工は法人化対応委員会で無料相談を受け付ける。
 - ・ Y-Boardの行動指針を作り、S-G(シニアジェネレーション)からY-G(ヤングジェネレーション)に技術・意識を伝承する。

- 2) 5月10日(日)(社)日本臨床工学技士会総会(徳島市内)
 - ・ 野倉会長、野々村事務局長が出席。
 - ・ 新法人法に対応するため「公益社団法人」への移行について活発な討論が行われ、会員資格の取り扱いや代議員制度導入について執行部から説明を受ける。

- 3) 6月7日(日)第5回NPO法人岐阜県腎臓病協議会大会(大垣市)
 - ・ 野倉会長出席予定であったが新型インフルエンザ警戒のため大会中止。

- 4) 11月28日(土)第31回中部臨床工学技士会連絡協議会会議(浜松市)
11月29日(日)第10回中部臨床工学技士会連絡協議会学術大会
 - ・ 協議会には野倉会長、野々村事務局長、岩尾理事、武安理事が出席。
 - ・ 川崎日臨工会長、佐藤常任理事、出口組織委員長も出席され、公益社団化後の各県技士会との関係について野倉会長より質問を行い「現在の協調関係を継続していくため、会員細則の見直しを行っている」との返答。

- 5) 3月13日(土)第32回中部臨床工学技士会連絡協議会会議(名古屋市)
 - ・ 野倉会長、野々村事務局長が出席。
 - ・ 第20回日本臨床工学会の学会協賛金依頼への各県の対応を報告。岐阜県は支払いをしない方針と返答。
 - ・ 中臨工ホームページに新しいソフトを導入し、各県から内容を更新できる方式を採用。学術大会開催県がその年度のHP担当となる。
 - ・ 第11回学術大会は、平成22年11月13日(土)14日(日)の両日に福井県の担当で開催予定。各県へ演題募集の協力要請あり。

2. 学術技能の研鑽及び資質の向上に関する事業

- 1) 4月19日(日)BLS(AED)講習会 岐阜県総合医療センター
参加者7名。野倉会長、伊藤副会長が世話役で出席。
- 2) 5月17日(日)初級心電図講習会(高山赤十字病院)
講師 平手 裕一 先生 (参加者 70名)
初の高山開催で技士のみならず看護師、救急救命士も多数参加された。
- 3) 6月21日(日)
ランチョンセミナー(長良川国際会議場)
「カーボスターの臨床的有効性について」
三軒医院(大阪府)透析室室長 牧尾 健司 先生
「機械適合性と期待される臨床効果について」
味の素ファルママーケティング部透析グループ 宮野 恵美 先生
市民公開講座
「あなたは今の治療法に満足していますか」
医療法人社団 大誠会理事長 松岡 哲平 先生
- 4) 7月12日(日)初級心電図講習会(長良川国際会議場)
講師 平手 裕一 先生 (参加者 63名)
- 5) 9月13日(日)第2回岐阜県臨床工学技士会学術大会(長良川国際会議場)
パネルディスカッション(Next-G)
「どうなの？隣の臨床工学技士 ～臨床工学技士の現状とこれからの展望～」
ランチョンセミナー
「ペースメーカの歴史と最近の不整脈治療デバイス」
日本メドトロニッククリニカルスペシャリスト 林 美香 先生
「松波総合病院におけるペースメーカ業務の変遷」
松波総合病院診療技術部臨床工学科 足立 光生 先生
一般演題 9 演題
- 6) 2月21日(日)第1回 GACET 教育セミナー(濃飛ニッセイビル1階会議室)
GACET パネルディスカッション
「どうしてる？隣の臨床工学技士 ～透析液管理編～」
ランチョンセミナー
「かゆみ最前線！透析患者を痒みから救え!!～選択的κ受容体作動性経口薬レミッチ～」
鳥居薬品株式会社 田中 佳之 先生
ME 機器管理セミナー①
「電気的安全性試験の実際 ～みんなで測ろう、漏れ電流～」
大正医科器械技術部 橋本 敏仁 先生
血液浄化セミナー①
「透析患者の凝固管理 ～基礎知識編～」
澤田病院 佐藤 英磨 先生
「血液浄化における抗凝固管理の実際」
松波総合病院 足立 光生 先生

3. 組織力強化に関する事業

- ・ Next-G の活動を中心に県内の施設訪問を行い、技士会活動への理解・協力をお願いするとともに若手

技士の現状把握につとめた。

- ・ 3月7日(日)「かかみはらシティマラソン」に岐阜県臨床工学技士会として12名がエントリーし、白衣・手術衣着用で全員完走を果たした。

4. 法人化に関する事業

- ・ 法人法改正による制度変更を機に、定款の変更などを行い、10月16日(金)岐阜地方法務局に「一般社団法人岐阜県臨床工学技士会」の登記申請を行い正式に承認。
- ・ 12月20日(日)岐阜都ホテルにて臨時総会を行い、任意団体としての岐阜県臨床工学技士会を解散し、「一般社団法人岐阜県臨床工学技士会」への移行が完了。

5. 会報発行に関する事業

- ・ 会報第36号、第37号を発行。

6. その他の事業

- ・ 理事会の開催(理事11名、監事2名)
 - 4月14日(火) 13名出席、
 - 6月9日(火) 10名出席、
 - 6月21日(日) 11名出席(臨時理事会)
 - 8月11日(火) 11名出席、
 - 10月13日(火) 9名出席、
 - 12月8日(火) 12名出席、
 - 2月9日(火) 10名出席。以上7回開催(臨時含む)
- ・ Next-G 会議4回開催、
- ・ 教育委員会会議2回開催

平成21年度 収支決算報告 I

自 平成21年12月20日
至 平成22年 3月31日

収入の部

科目	21年度 予算額	21年度 決算額	差異	備考
入会金収入		(0)	(0)	
入会金収入		0	0	
会費収入		(20,000)	(▲ 20,000)	
正会員会費収入		0	0	
賛助会員会費収入		20,000	▲ 20,000	
雑収入		(1,410,173)	(▲ 1,410,173)	岐阜県臨床工学技士会、懇親会費、セミナー等
当期収入合計 (A)	0	1,430,173	▲ 1,430,173	
前年度繰越収支差額	0	0	0	
収入合計 (B)	0	1,430,173	▲ 1,430,173	

貸借対照表(平成22年 3月31日現在)

一般会計

(単位:円)

科 目	金 額	
資産の部		
流動資産		
現金預金	928,341	
流動資産の合計		928,341
固定資産		
固定資産の合計		0
資産合計		928,341
負債の部		
流動負債		
未払金		
負債の部合計		0
正味財産の部		
正味財産合計		928,341
負債及び正味財産合計		928,341

平成21年度 収支決算報告 II

自 平成21年12月20日
至 平成22年 3月31日

支出の部

科目	21年度 予算額	21年度 決算額	差異	備考
事業費	0	(485,802)	(▲ 485,802)	
会議費		(440,937)	(▲ 440,937)	
総会費		291,937	▲ 291,937	
理事会費		98,900	▲ 98,900	
諸会議費		50,100	▲ 50,100	
一般事業費	0	(44,865)	(▲ 44,865)	
学術大会・セミナー費			0	
出張費		4,100	▲ 4,100	
広報・交流会費		28,100	▲ 28,100	各務原シティマラソン参加費
渉外費			0	
IT費		12,665	▲ 12,665	
事務費	0	(5,715)	▲ 5,715	
消耗品費		5,715	▲ 5,715	
通信費			0	
予備費		10,315	▲ 10,315	ファクタリング法人手続き事務手数料(振込手数料含む)
当期支出合計 (C)	0	501,832	▲ 501,832	
当期支出差額 (A)-(C)	0	928,341	▲ 928,341	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	928,341	▲ 928,341	

財産目録

科目	金額
普通預金 十六銀行 野一色支店	87,673
通常郵便貯金 名古屋 貯金事務センター	599,981
現金	240,687
正味財産	928,341

平成21年度 監査報告

平成21年度監査報告

監査報告書

一般社団法人 岐阜県臨床工学技士会
会長 野倉 正敏

一般社団法人岐阜県臨床工学技士会の平成21年12月20日から平成22年3月31日までの理事の業務執行状況、事業執行状況および財産・会計状況の監査を行った結果、すべて正しく執行されていたことを証明いたします。

平成22年5月7日

一般社団法人 岐阜県臨床工学技士会

監事 服部 尚樹 

監事 飯沼 伸司 

監事 中原 富美夫 

第2号議案 平成22年度事業計画案

平成 22 年度事業計画案

施策方針

一般社団法人化をひとつのステップと捉え、他のメディカルスタッフや一般市民にも臨床工学技士の存在をアピールし、地域医療や社会福祉に貢献できる組織として活動を充実させる。

1. 関連団体との交流に関する事業

- ・ (社)日本臨床工学技士会、中部臨床工学技士会連絡協議会など他団体との連携強化に努める。
 - 1) 平成 22 年 5 月 21 日(金)第 5 回全国臨床工学技士会代表者意見交換会(横浜)
 - 2) 平成 22 年 5 月 22 日(土)、23 日(日) 第 20 回日本臨床工学会(横浜)
平成 22 年 5 月 23 日(日) (社)日本臨床工学技士会総会
 - 3) 平成 22 年 11 月 13 日(土) 第 33 回中部臨床工学技士会連絡協議会会議、
平成 22 年 11 月 13 日(土)、14 日(日) 第 11 回中部臨床工学技士会学術大会(福井県)
 - 4) 平成 23 年 3 月 X 日(土)第 34 回中部臨床工学技士会連絡協議会会議(名古屋)

2. 学術技能の研鑽及び資質の向上に関する事業

- ・ 多様化、高度化する臨床工学技士業務に対応するための情報提供や、経験の浅い技士からベテランまで興味を持てるような勉強会、セミナーを開催する。
 - 1) 平成 22 年 6 月 6 日(日)GACET 教育セミナー
ランチオンセミナー
「腎性貧血と ESA 製剤～良好な Hb の管理を目指して～」
中外製薬株式会社 伊藤正幸 先生
市民公開講座
「究極の脳卒中予防法」
岐阜大学大学院脳神経外科学准教授・臨床教授 吉村 紳一 先生
 - 2) 平成 22 年 9 月 12 日(日) 第 3 回岐阜県臨床工学技士会学術大会
 - 3) 平成 22 年(期日未定) 初級心電図講習会
平成 22 年(期日未定) 血液浄化、呼吸療法、循環器の各教育セミナー
 - 4) 平成 23 年 2 月 GACET 教育セミナー

3. 組織力強化に関する事業

- ・ Next-G の活動を中心に会員相互の親睦を図り、未加入技士の掘り起こし、会費納入の口座振替の促進に努め、法人としての責任ある組織運営を行う。

4. 法人化に関する事業

- ・ 一般社団法人化が最終目標ではなく、さらに上の「公益社団法人」を視野に入れ情報収集を行い、可能であればその実現に向けて努力する。

5. 会報発行に関する事業

- ・ 広報委員会により定期的に発行する。
- ・ ホームページを有効に活用し、最新情報などを掲載する。

6. その他の事業

- ・ 平成 22 年度一般社団法人岐阜県臨床工学技士会総会の開催
平成 22 年 6 月 6 日(日)長良川国際会議場 5 階国際会議室
- ・ 平成 22 年度定例理事会の開催
平成 22 年 4 月 13 日(火)澤田病院管理棟 3 階会議室
以降年間4回以上の開催を予定。
- ・ Next-G、教育委員会などの会議を開催

第3号議案 平成22年度収支予算案

自 平成22年4月1日
至 平成23年3月31日

収入の部

科目	22年度 予算額	前年度 予算額	差異	備考
入会金収入	(30,000)	0	(30,000)	
入会金収入	30,000		30,000	10人×3,000円
会費収入	(1,150,000)	0	(1,150,000)	
正会員会費収入	750,000		750,000	150人×5,000円
賛助会員会費収入	400,000		400,000	20社×20,000円
雑収入				
当期収入合計 (A)	1,180,000	0	1,180,000	
前年度繰越収支差額	928,341	0		
収入合計 (B)	2,108,341	0	2,108,341	

支出

科目	22年度 予算額	前年度 予算額	差異	備考
事業費	(1,580,000)	0	(1,580,000)	
会議費	(700,000)	0	(700,000)	
総会費	400,000		400,000	
理事会費	150,000		150,000	
諸会議費	150,000		150,000	
一般事業費	(880,000)	0	(880,000)	
学術大会・セミナー費	400,000		400,000	
出張費	300,000		300,000	
渉外費	30,000		30,000	
IT費	50,000		50,000	
広報・交流会費	100,000		100,000	
事務費	(300,000)	0	(300,000)	
消耗品費	200,000		200,000	
通信費	100,000		100,000	
予備費	(128,341)		(128,341)	
当期支出合計 (C)	2,008,341	0	2,008,341	
当期支出差額 (A)-(C)	▲ 828,341	0	▲ 828,341	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	100,000	0	100,000	

第4号議案 第2期理事監事選出

理事

1. 野倉 正敏 羽島クリニック 人工腎センター
2. 志村 貴之 岐阜中央病院 医療技術部 臨床工学課
3. 岩田 雄義 医療法人社団 豊正会 大垣中央病院 臨床工学部
4. 野々村浩光 医療法人社団慈朋会 澤田病院 腎臓病センター
5. 伊藤理一 医療法人社団慈朋会 澤田病院 腎臓病センター
6. 工藤恵子 サンシャイン M&D クリニック 透析室
7. 細田 勇 市立恵那病院 臨床工学室
8. 岩尾 昌之 躰生会脳神経外科病院 臨床工学科
9. 武安 美希子 松波総合病院 診療技術部臨床工学科
10. 福田 信吾 中部大学 生命健康科学部 臨床工学科
11. 岡田直樹 羽島市民病院 臨床工学科
12. 塚原勝克 岐阜市民病院 臨床工学室
13. 西田 昌司 山内ホスピタル ME課
14. 足立光生 社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院 臨床工学科

監事

15. 服部尚樹 LIVE 服部税理士法人 代表
16. 飯沼伸司 井上精機株式会社 経営室
17. 中原富美夫 山内ホスピタル ME課